

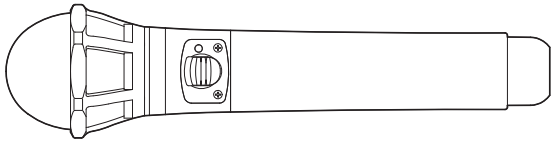
# AT-CLM9000TX AT-CLM9000TSX AT-CLM9000TGX II

## 取扱説明書 / 赤外線コードレスマイクロホン

audio-technica

ご購入ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。



### ●軽量、コンパクトなショートタイプマイクロホン

### ●高音質ダイナミックマイクユニットを搭載

### ●部屋の大きさにあわせて赤外線出力を3段階 (ECO/LO/HI) に切り換えできる省電力対応

### ●最大8時間 (ECO時) の連続使用によりカラオケ業務に最適

### ●同じ部屋で最大8本まで使えるチャンネルを用意

### ●マイクユニットASSY、グリップLOW-ASSYをスピーディーに交換可能

・本製品を運用するには別売の当社赤外線コードレスレシーバー、当社充電器との組み合わせが必要です。対応する製品については当社のホームページをご覧ください。

## ■ 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起ることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

<b>⚠ 危険</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
<b>⚠ 警告</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
<b>⚠ 注意</b>	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

## ■ 本体について

<b>⚠ 警告</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電、故障や火災の原因になります。</li> <li>・同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない 事故や火災の原因になります。</li> <li>・異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない 異常に気づいたら、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社窓口で修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。</li> <li>・強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。</li> <li>・濡れた手で触れない 感電やけがの原因になります。</li> <li>・水をかけない 感電、故障や火災の原因になります。</li> <li>・布などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。</li> </ul>

<b>⚠ 注意</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない 故障、不具合の原因になります。</li> <li>・火気に近づけない 変形、故障の原因になります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない 変形、故障の原因になります。</li> </ul>


## ■ 電池について

指定電池	専用ニッケル水素電池 または 単3形アルカリ乾電池
<b>⚠ 危険</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電池の液が漏れたときは素手で液を触らない 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。</li> <li>・電池の液が目に入ったときは目をこすらない すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。</li> </ul>

<b>⚠ 警告</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・火の中に入れてない、加熱、分解、改造しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li> <li>・釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない 発熱、破損、発火の原因になります。</li> <li>・幼児の手の届く所に置かない 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。</li> <li>・電池は (+) (-) を逆に入れない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li> <li>・長期間使用しない場合は電池を取り出す 液漏れによる故障の原因になります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬貨やカギなど金属製のものと一緒に場所を置いたり、電池の (+) と (-) を接続しない ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li> <li>・新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li> <li>・乾電池は充電しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li> <li>・使い切った電池はすぐに取り出す 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li> </ul>

<b>⚠ 注意</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・落下させたり強い衝撃を与えない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li> <li>・以下の場所で使用、放置、保管しない <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所</li> <li>■ 炎天下の車内</li> <li>■ ストープなどの熱源の近く</li> </ul> </li> <li>・液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。</li> <li>・水に濡らさない 発熱、発火の原因になります。</li> <li>・外装ラベルが剥がれた電池は使用しない、ラベルを剥がさない ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変形させたりハンダ付けしない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li> <li>・保管、廃棄の場合は端子(金属部分)をテープなどで絶縁する 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li> <li>・機器を使用したあとは必ずスイッチを切る 液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。</li> <li>・指定の電池以外使用しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。</li> <li>・使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する 環境保全に配慮してください。</li> </ul>

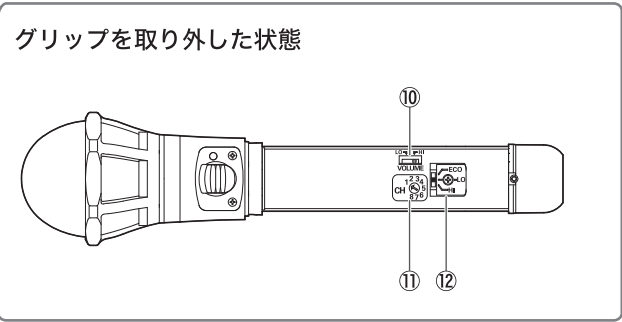
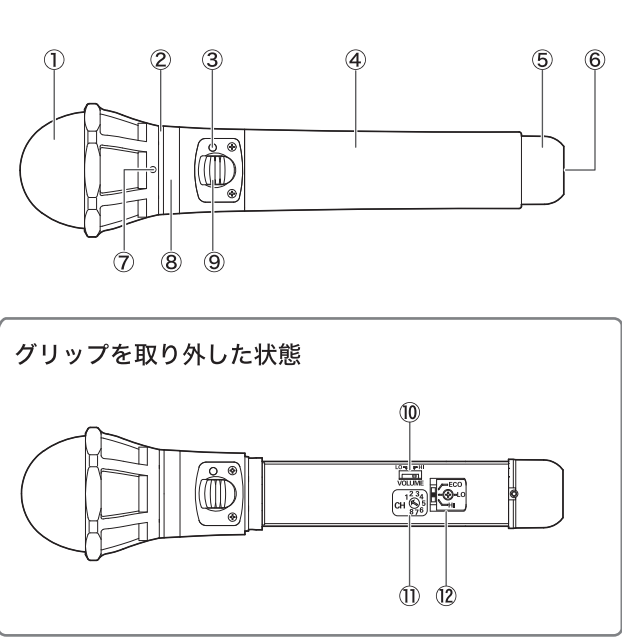
## ■ 充電式電池のリサイクルについて

 **Ni-MH**  
充電式電池はリサイクルできます。不要になった電池は、端子(金属部分)にテープなどを貼り付けて絶縁してから充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ<http://www.baj.or.jp>をご覧ください。

## ■ 使用上の注意

- ・ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- ・赤外光発光部は手で握らないでください。
- ・赤外光発光部を強く握ったり、ひねらないでください。故障の原因となります。
- ・赤外光の到達距離は壁や天井、床などの色や材質によって変化します。
- ・到達距離とは無関係にノイズが発生することがあります。その際は、受光ユニットを適切な位置に取り付け直してください。
- ・市販の単3形アルカリ乾電池を使用した場合、電池残量表示は正しく表示されません。
- ・出荷時の充電式電池は充電されていません。
- ・初めて充電するときや長時間使用していないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。その際は、何回か充放電を繰り返すと通常の充電ができるようになります。
- ・長期間使用しないときでも、充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようににしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなったり、充電しなくなる恐れがあります。
- ・充電式電池を使い切らないうちに充電を繰り返すと、充電状態とは無関係に電池が消耗するメモリー効果と呼ばれる現象が起きます。マイクロホンのインジケーターが消えるまで使い切ってから充電してください。それでも改善されない場合は、充電式電池の寿命の可能性ががあります。新しい充電式電池と交換してください。
- ・充電式電池は充電を繰り返すと、電池の容量が減少してきます。使用時間が短くなってきたらなるべく早く新しい電池と交換されることをおすすめします。
- ・充電式電池にまれに白い粉のようなものが付着することがありますが、故障ではありません。乾いた布などでよく拭き取ってから再度ご使用ください。

## ■ 各部の名称と機能



### ①ヘッドケース

### ②デザインリング

### ③電源インジケータ

電源を入れると電池の残量を表示します。

白点灯 : 使用可能です。  
白点滅/無点灯: 充電してください。

・電源インジケータの表示は目安です。

・電源インジケータが白点滅ですと受信範囲が狭くなり、ノイズの混入や途切れが発生する場合があります。

### ④グリップ

### ⑤赤外光発光部

### ⑥充電端子部

### ⑦ヘッドケース止めねじ

### ⑧リングメイハン

### ⑨電源スイッチ

上方向にスライドさせると電源が入ります。

### ⑩ボリューム切換スイッチ

本製品のボリューム設定を切り換えます。

### ⑪チャンネル (ch) 切換スイッチ

使用するチャンネルを切り換えます。

### ⑫出力切換スイッチ

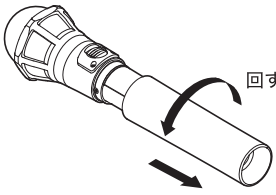
赤外光の出力設定を切り換えます。

## ■ 電池の入れ方

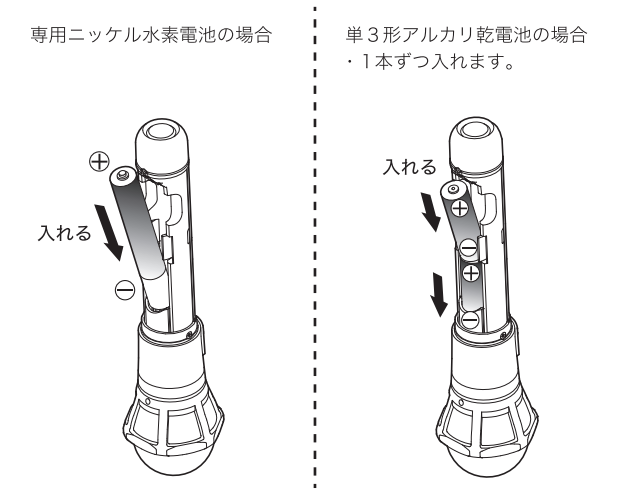
本製品は緊急の場合、市販の単3形アルカリ乾電池2個でも使用できます。その場合、電池残量表示は正しく表示されません。また、アルカリ乾電池は絶対に充電しないでください。

### 1 電源をオフにします。

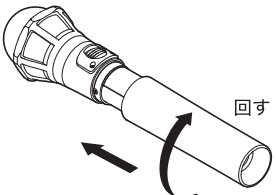
### 2 グリップを反時計方向に回し、取り外します。



### 3 ヘッドケースを下に向け電池を ⊖ 側から先に入れます。

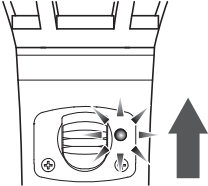


### 4 グリップを本体にはめ込み、時計方向に止まるまで回します。

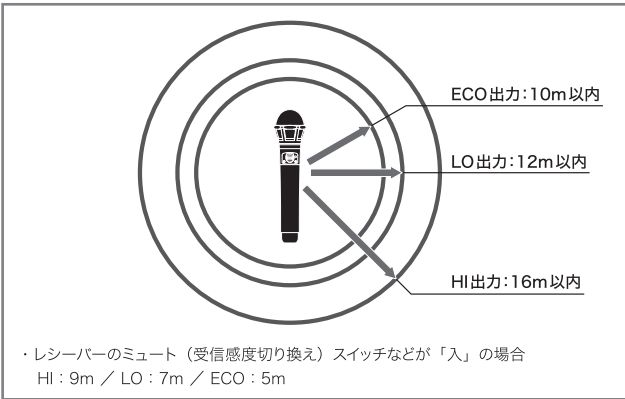


### 5 電源スイッチをオンにし、電源インジケータが点灯すれば正常です。

・電源インジケータが白点滅または無点灯のときは電池が消耗しています。



## ■ 送信範囲



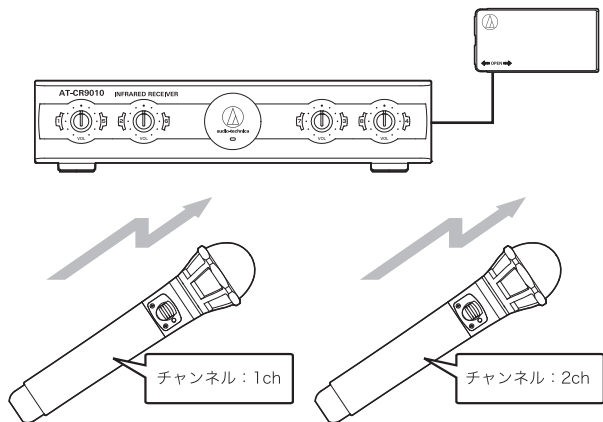
- ・上記の送信範囲は本製品と受光ユニットの間に障害物がなく、見通せる状態での目安です。
- ・周囲の環境やレシーバーの設定条件などにより送信範囲は変わります。
- ・本製品と受光ユニットの間に障害物がある場合、上記の送信範囲以下でも雑音が出たり、音が途切れたりすることがあります。

## ■ コードレスシステムについて

本製品を複数本同時に使用する際は、各々のチャンネルを異なるチャンネルに設定してください。

- ・同じチャンネルのコードレスシステムを同時に使用できません。
- ・本製品と受光ユニットは 1.5m 以上離して使用してください。誤動作や雑音が発生する恐れがあります。
- ・周辺にテレビやデジタル機器がある場合は離して使用してください。電波の干渉やノイズの影響を受けることがあります。
- ・ハウリング（ピー、あるいはキーンという音）発生時は、レシーバーのチャンネルボリュームか、接続しているアンプなどの音量を絞ってください。

## ■ 使用例



## ■ 使いかた

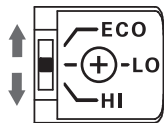
別売の当社赤外線コードレスレシーバーの取扱説明書も併せてお読みください。

- 1 本製品を充電します。**
  - ・「充電のしかた」を参照してください。
- 2 レシーバーの出力切換（マイク⇄ライン）を確認します。**
- 3 レシーバーの電源をオンにします。**
  - ・電源をオンにしてから約3秒間は音が出ません。
- 4 本製品の電源をオンにします。**
- 5 音が出ることを確認し、お持ちの機器またはレシーバーで音量を調整します。**

## ■ 出力設定の切り換えかた

送信範囲の調整をする場合、出力切換スイッチをスライドさせて設定を切り換えます。

- ・ECO：出力小、LO：標準、HI：出力大
- ・出力を切り換えると、連続使用時間も変わります。
- ・出荷時は、「LO」に設定されています。



## ■ チャンネルの切り換えかた

電源をオフにしてから、チャンネル切換スイッチを回してチャンネルを切り換えます。

- ・電源がオンの状態でチャンネルを切り換えると雑音の原因となります。
- ・出荷時は、「1ch」に設定されています。



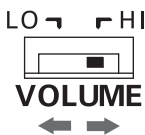
本製品のチャンネルは下記表に対応しています。

1ch	2.06MHz	5ch	2.34MHz
2ch	2.56MHz	6ch	2.84MHz
3ch	3.20MHz	7ch	2.98MHz
4ch	3.70MHz	8ch	3.48MHz

## ■ ボリューム設定の切り換えかた

本製品以外の当社マイクロホンと同時に使用する場合やハウリングする場合、ボリューム切換スイッチをスライドさせ設定を切り換えて音量の調整をします。

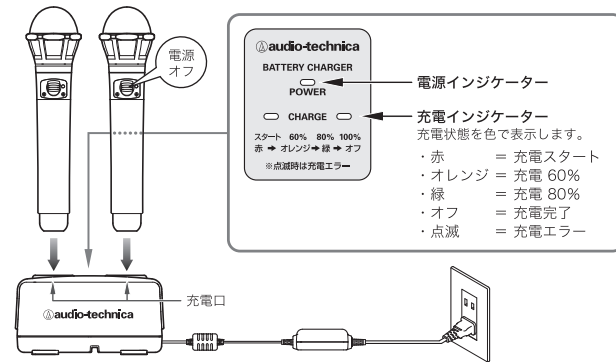
- ・LO：ボリューム小、HI：ボリューム大
- ・出荷時は、「HI」に設定されています。



## ■ 充電のしかた

別売の当社充電器の取扱説明書も併せてお読みください。

## ■ 使用例



## 1 本製品の電源をオフにしてから、充電口へ差し込みます。

- ・本製品を差し込んで、充電インジケータが点滅する場合は、エラーの可能性がありませう。一度充電器の電源を切ってからご使用ください。
- ・本製品の電源がオンの状態で充電口に差し込むと、自動的に本製品の電源がオフになり、充電が開始されます。(オートオフ機能)

## 2 充電インジケータは充電中に赤からオレンジに点灯し、満充電近くなると緑に点灯します。

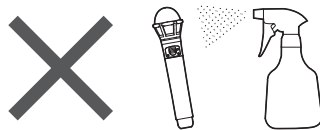
## 3 充電インジケータが消灯すれば、充電完了です。

- ・約5.5時間で充電完了します。
- ・本製品の充電式電池の寿命は正常なご使用で約1年、または充電回数で約750回繰り返して使用できます。
- ・充電状態の表示は目安です。できる限り、満充電(充電インジケータが消灯)になってからご使用ください。
- ・充電式電池の消耗が少ないときは、自動的に短時間で充電完了します。

## ■ お手入れのしかた

汚れたときやほこりが付いたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

- ・ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しないでください。
- ・殺菌スプレーや消臭スプレーは直接吹きかけないでください。



## ■ 故障かな?と思ったら

以下の項目を参考にしてください。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までお問い合わせください。

### ■ 電源が入らない

- ・本製品を充電してください。

### ■ レシーバーが受信しない

- ・本製品と受光ユニットの間に障害物を無くしてください。
- ・本製品と受光ユニットを近づけてください。

### ■ 満充電にしてもすぐに電池がなくなってしまう

- ・電池がメモリー効果を起こしている可能性があります。本製品の電源をオンにして8時間以上放置した後、電源をオフにしてまた充電してください。上記の操作をしても改善されない場合は、充電式電池の寿命(約750回の充電が目安です)と思われます。新しい充電式電池と交換してください。

## ■ テクニカルデータ

型式	:ダイナミック型
指向特性	:単一指向性
変調方式	:FM周波数変調
トーン信号	:35.7kHz
搬送波周波数	:1ch(2.06MHz)、2ch(2.56MHz)、3ch(3.20MHz)、4ch(3.70MHz)、5ch(2.34MHz)、6ch(2.84MHz)、7ch(2.98MHz)、8ch(3.48MHz)
赤外線波長	:870±30nm
電源	:DC2.4～3V(専用ニッケル水素電池または単3形アルカリ乾電池2本使用時)
連続使用時間*	:専用ニッケル水素電池使用時 約8時間(ECO時) 約6.5時間(LO時) 約4時間(HI時)
	:単3形アルカリ乾電池使用時 約7時間(ECO時) 約5.5時間(LO時) 約3時間(HI時)
動作温度範囲	:5°C～40°C
保存温度範囲	:-20°C～40°C
充電温度範囲	:5°C～40°C
外形寸法	:φ55×225mm(ヘッド径×全長)
質量	:約290g(専用ニッケル水素電池含む)
付属品	:専用ニッケル水素電池 RB3UTG(1900mAh)(本製品に実装済み)

\*使用条件により異なります。

改良などのため予告なく変更することがあります。

本製品は保証対象外の製品です。修理などにつきましては、お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の窓口までお問い合わせください。

株式会社オーディオテクニカ

http://www.audio-technica.co.jp/amz

142315090-01-05

ver.1 2016.01.22  
ver.5 2024.11.01